

# 平成22年度 学校基本調査結果の概要

平成22年5月1日現在で市内に所在する幼稚園・学校等を対象として実施した「学校基本調査(基幹統計調査)」のうち、「学校調査」と「卒業後の状況調査」の結果がまとまったので、その概況を公表する。

また、市内に所在する保育所の概況に関する統計表も、併せて掲載する。

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的としている。

### 2. 調査の範囲

学校調査……………幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校、  
大学、短期大学、専修学校及び各種学校

卒業後の状況調査……中学校、高等学校、大学及び短期大学の卒業者

### 3. 調査事項

#### 学校調査

学校の名称、種別及び所在地

学校の特性に関する事項

学部、学科、課程又は学級に関する事項

教員及び職員の数

児童、生徒、学生又は幼児の在籍状況及び出席状況

児童、生徒、学生又は幼児の入学、卒業及び転出入の状況

#### 卒業後の状況調査

学校の名称、種別及び所在地

学校の特性に関する事項

卒業者の卒業時における所属に関する事項

卒業者の進学、就職等の状況

### 4. 調査の実施時期

学校調査……………毎年5月1日現在

卒業後の状況調査……前年度間の卒業者(高等学校、特別支援学校の高等部にあつては、  
前々年度以前の卒業者で上級の学校に入学を志願したものを含  
む。)について、毎年5月1日現在

#### (利用上の注意)

学校(園)数には、休校(園)中の学校(園)(児童・生徒のいない校園)を含む。

小学校・中学校・高等学校の郊外校は市立計にも総数にも含まれない。

入学志願者数において、同一人が2校以上に願書を提出し、2校以上に合格した場合は、  
実際に入学した学校の志願者、いずれも不合格の場合は、第1志願の学校の志願者とし  
て計上している。

高等学校の国立は、大阪教育大学付属高等学校天王寺校舎、平野校舎及び池田校舎の総  
計である。

大学の学校数については、大学本部の所在地での計上である。なお、学部数・学生数に  
ついては在籍する学部、研究科等の所在地による。

## 用語解説

郊外校……………大阪市立学校のうち市外に所在するもの。

専修学校……………学校教育法第1条に規定する学校以外の教育施設で、職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し又は教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行い、修業年限1年以上、授業時間数が文部科学大臣所定の時間数以上、教育を受けるものが常時40名以上であるもの。

高等課程……………中学校卒業若しくはそれと同等以上の学力があると認められることを入学資格とする課程。

専門課程……………高等学校卒業若しくはそれと同等以上の学力があると認められることを入学資格とする課程。

一般課程……………特に入学資格を定めない課程。

各種学校……………学校教育に類する教育を行う施設で、専修学校以外のもの。なお、本調査では国公立、及び府知事の認可を受けた私立の各種学校を対象としている。

特別支援学校……………特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする学校。

中等教育学校……………小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育並びに高等普通教育及び専門課程を一貫して施すことを目的とする学校。  
修業年限は6年。課程は前期3年の前期課程及び後期3年の後期課程に区分される。中高一貫とは異なる。

職員……………小・中学校には「職員」として、校長、教頭、教諭、養護教諭及び事務職員を置かなければならないとしている（法第37条、第49条）  
本調査では上記の職員を「教員」と「職員」とに分けている。

教員……………初等中等教育では、校長（園長）、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師の名称を用いている。

長期欠席者数……………義務教育の学校（小・中学校及び特別支援学校の小学部、中学部）で、平成22年3月31日現在の在学者のうち、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間に、連続又は断続して30日以上欠席した者を、5月1日を基準に調査し計上している。  
ただし、平成21年4月1日現在で15歳以上の者については、1年間にわたり居所不明又は全く出席しなかった者は除外している。

病気……………本人の心身の故障、けが等。

経済的理由……………家計が苦しくて教育費が出せない、児童・生徒が働いて家計を助けなければならない等。

不登校……………「病気」や「経済的理由」以外の何かしらの理由で、登校しない（できない）ことにより長期欠席した者

その他……………保護者の教育に関する考え方、無理解・無関心などの家庭の事情、外国での長期滞在等、理由が前記に該当しない者。

## 大阪市における学校の概況

幼稚園は204園。在園者数は8年連続で減少している。

小学校は306校で、児童数は4年連続で減少している。

中学校は1校増加して154校。生徒数は前年度比0.1%減とわずかに減少している。

高等学校の生徒数は全日制、定時制ともに増加。

短期大学は8校。学生数は減少が続いている。

大学は11校で、昼間 第1部 の学生数は増加が続いているが、夜間 第2部 の学生数は減少が続いている。

大阪市の学校(園)数、教員数及び生徒数等(平成22年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	学 校 (園) 数				教員数	生 徒 数 等		
	総数	国立	公立	私立	(本務者)	総数	男	女
幼 稚 園	204	1	60	143	1,905	28,763	14,459	14,304
小 学 校	306	2	297	7	7,172	125,794	64,135	61,659
中 学 校	154	2	128	24	4,398	66,807	33,687	33,120
高 等 学 校	97	1	58	38	5,414	78,758	39,257	39,501
中 等 教 育 学 校	1	-	-	1	61	827	520	307
特 別 支 援 学 校	13	1	12	-	1,307	2,360	1,417	943
専 修 学 校	165	-	2	163	2,747	53,844	25,816	28,028
各 種 学 校	33	-	1	32	246	6,438	4,289	2,149
短 期 大 学	8	-	-	8	260	4,218	140	4,078
大 学	11	-	1	10	1,443	28,096	19,745	8,351

## 学校調査

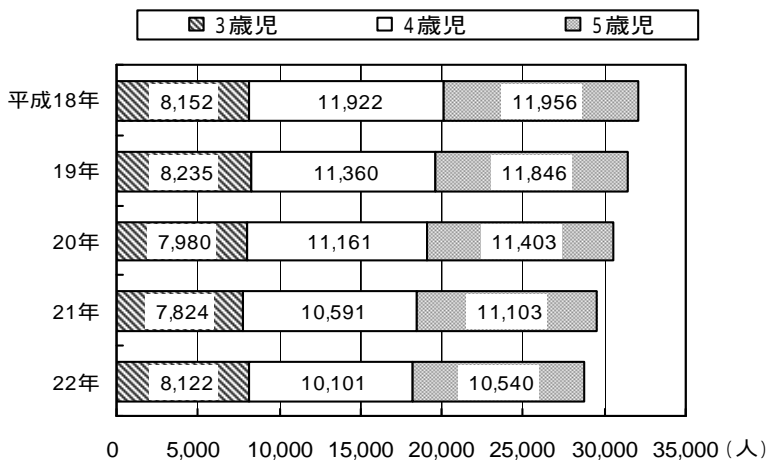
### 1 幼稚園

在園者数は8年連続で減少

市内の幼稚園は204園で、前年度に比べ私立で1園減少し、市立60園、国立1園、私立143園となっている。

在園者数は2万8763人で、前年度に比べ755人(対前年度2.6%)減少し、8年連続で減少となった。設置者別在園者数では、全体の82.0%を占める私立が2万3578人で前年度に比べて667人(対前年度2.8%)減少し、市立は5036人で90人(同1.8%)減、国立は149人で2人(同1.4%)増加した。

幼稚園の年齢別在園者数の推移



幼稚園の年度別、設置者別園数・教員数・在園者数

(単位：園・人)

年度	園数				教員数				在園者数			
	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立
平成18年	208	61	1	146	2,152	419	11	1,722	32,030	5,686	160	26,184
19年	206	60	1	145	2,179	429	11	1,739	31,441	5,326	159	25,956
20年	206	60	1	145	2,176	420	11	1,745	30,544	5,182	153	25,209
21年	205	60	1	144	2,157	428	11	1,718	29,518	5,126	147	24,245
22年	204	60	1	143	2,153	420	11	1,722	28,763	5,036	149	23,578

保育所(学校基本調査対象外)

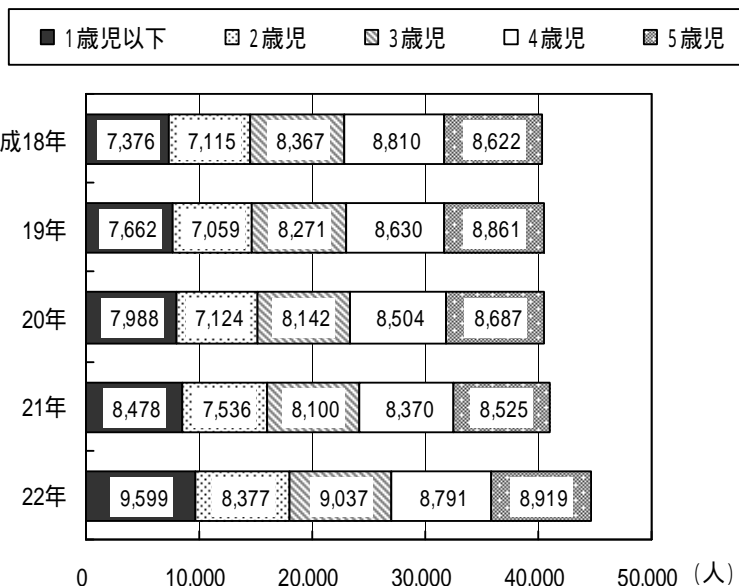
保育所数は10年連続増加

市内の保育所は384所で、前年度に比べ21所増加し10年連続の増加となった。設置者別でみると、公設公営が104所、公設民営が27所、私立は253所となっている。

保育所児童数は4万4723人で、前年度と比べ3714人(対前年度9.1%)増加した。

年齢別の児童数は、1歳児以下が9599人で前年度と比べて1121人(対前年度13.2%)増と、16年連続増加となったのをはじめ、2歳児は8377人で841人(同11.2%)増、3歳児は9037人で937人(同11.6%)増、4歳児は8791人で421人(同5.0%)増、5歳児は8919人で394人(同4.6%)増とすべての年齢で増加している。

保育所の年齢別児童数の推移



## 2 小学校

### 児童数はわずかに減少

市内の小学校は前年度と同数の306校で、市立297校、国立2校、私立7校となっている。

児童数は12万5794人で、前年度に比べ1470人(対前年度1.2%)の減少となり、学級数も7学級(クラス)減少した。

設置者別の児童数は、児童数の96.2%を占める市立が12万953人で前年度に比べて1407人(対前年度1.1%)減少した。

市立児童数を区別に前年度と比べると、福島区

の2.5%(68人)増、西淀川区の1.8%(101人)増など8区で増加となった。一方、生野区の3.9%(221人)減、東淀川区の3.2%(259人)減など15区で減少している。

1学級あたりの児童数は、市立26.1人、国立39.7人、私立35.2人となっている。

小学校の年度別、設置者別学校数・学級数・教員数・児童数

(単位:校・学級・人)

年度	学 校 数				学 級 数				教 員 数				児 童 数			
	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立
平成18年	306	297	2	7	4,727	4,594	36	97	7,222	6,971	58	193	128,917	123,951	1,427	3,539
19年	305	296	2	7	4,764	4,630	36	98	7,209	6,955	57	197	128,241	123,259	1,429	3,553
20年	306	297	2	7	4,788	4,654	36	98	7,245	7,012	58	205	128,229	123,281	1,426	3,522
21年	306	297	2	7	4,773	4,639	36	98	7,433	7,163	59	211	127,264	122,360	1,432	3,472
22年	306	297	2	7	4,766	4,633	36	97	7,489	7,213	58	218	125,794	120,953	1,429	3,412

### 長期欠席者数は減少

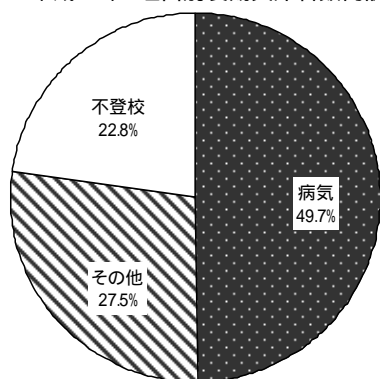
長期欠席者数は1617人で前年度と比べると149人(対前年度8.4%)の減少となっている。理由別にみると、病気が803人で全体の49.7%を占めている。

### 理由別長期欠席者

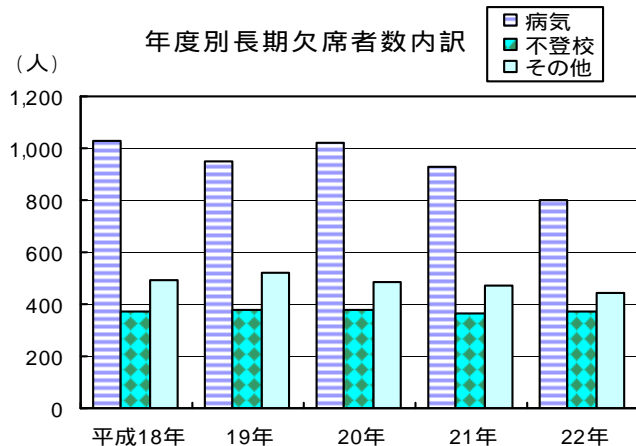
年度別長期欠席者数内訳

年度	病気	不登校	その他
平成18年	1,031	368	495
19年	953	375	519
20年	1,019	377	485
21年	932	362	472
22年	803	369	445

平成22年 理由別長期欠席者数内訳



年度別長期欠席者数内訳



## 市立小学校の年度別、区別児童数

(単位：人・%)

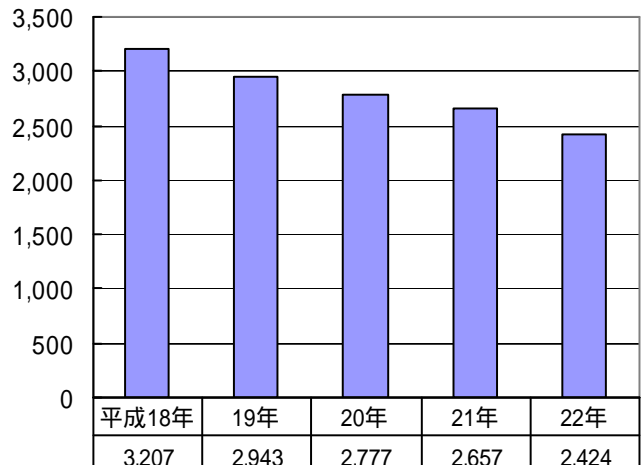
区名	児 童 数					増 減 率			
	平成18年	19年	20年	21年	22年	18～19年	19～20年	20～21年	21～22年
総数	123,951	123,259	123,281	122,360	120,953	0.6	0.0	0.7	1.1
北	3,180	3,254	3,270	3,311	3,303	2.3	0.5	1.3	0.2
都島	4,644	4,613	4,573	4,547	4,517	0.7	0.9	0.6	0.7
福島	2,637	2,625	2,669	2,722	2,790	0.5	1.7	2.0	2.5
此花	3,319	3,269	3,250	3,138	3,138	1.5	0.6	3.4	0.0
中央	2,010	2,042	2,101	2,127	2,135	1.6	2.9	1.2	0.4
西	2,978	3,112	3,175	3,233	3,264	4.5	2.0	1.8	1.0
港	4,127	4,088	4,002	3,961	3,907	0.9	2.1	1.0	1.4
大正	3,700	3,710	3,652	3,645	3,597	0.3	1.6	0.2	1.3
天王寺	3,127	3,129	3,182	3,221	3,255	0.1	1.7	1.2	1.1
浪速	1,241	1,241	1,186	1,165	1,143	0.0	4.4	1.8	1.9
西淀川	5,234	5,333	5,477	5,524	5,625	1.9	2.7	0.9	1.8
淀川	7,081	7,094	7,142	7,140	7,106	0.2	0.7	0.0	0.5
東淀川	8,513	8,339	8,237	8,125	7,866	2.0	1.2	1.4	3.2
東成	3,652	3,612	3,693	3,746	3,754	1.1	2.2	1.4	0.2
生野	6,121	5,960	5,871	5,617	5,396	2.6	1.5	4.3	3.9
旭	4,399	4,378	4,362	4,314	4,210	0.5	0.4	1.1	2.4
城東	8,262	8,354	8,479	8,538	8,490	1.1	1.5	0.7	0.6
鶴見	6,810	6,828	6,961	6,947	6,997	0.3	1.9	0.2	0.7
阿倍野	5,286	5,273	5,300	5,333	5,363	0.2	0.5	0.6	0.6
住之江	6,943	6,838	6,618	6,342	6,140	1.5	3.2	4.2	3.2
住吉	8,020	7,866	7,746	7,649	7,428	1.9	1.5	1.3	2.9
東住吉	6,788	6,675	6,681	6,610	6,471	1.7	0.1	1.1	2.1
平野	12,111	11,986	11,993	11,786	11,554	1.0	0.1	1.7	2.0
西成	3,768	3,640	3,661	3,619	3,504	3.4	0.6	1.1	3.2

### 外国人児童数は8.8%減少

市内の小学校における外国人児童数は、2424人で前年度より233人(対前年度8.8%)減少し、小学校児童数全体に占める割合は1.9%となっている。

(人)

### 外国人児童数



### 3 中学校

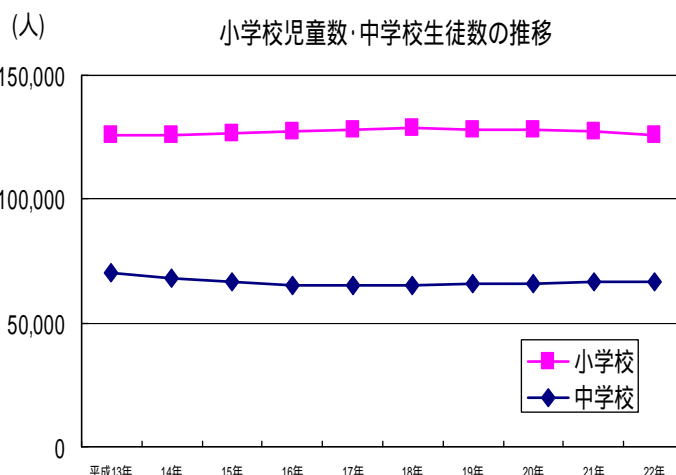
生徒数はわずかに減少

市内の中学校は154校で、前年度から私立で1校増加し、市立128校、国立2校、私立24校となっている。

生徒数は6万6807人で前年度と比べて75人(対前年度0.1%)減少した。

学年別では3学年が2万2041人で、前年度と比べて669人(対前年度2.9%)減少したのに対し、1学年及び2学年は増加となった。

また、設置者別生徒数では、市立が5万5752人で前年度と比べて36人(対前年度0.1%)減少しており、私立でも38人(同0.4%)減少している。



### 中学校の年度別、設置者別学校数・学級数・教員数・生徒数

単位：校・学級・人

年度	学 校 数				学 級 数				教 員 数				生 徒 数			
	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立
平成18年	150	127	2	21	2,046	1,768	21	257	4,651	3,700	86	865	65,399	54,924	835	9,640
19年	150	127	2	21	2,072	1,793	21	258	4,653	3,706	83	864	66,035	55,315	837	9,883
20年	152	128	2	22	2,099	1,814	21	264	4,758	3,737	83	938	66,100	55,241	839	10,020
21年	153	128	2	23	2,140	1,846	21	273	4,888	3,849	84	955	66,882	55,788	839	10,255
22年	154	128	2	24	2,154	1,857	21	276	5,062	3,941	87	1,034	66,807	55,752	838	10,217

長期欠席者の約6割が不登校

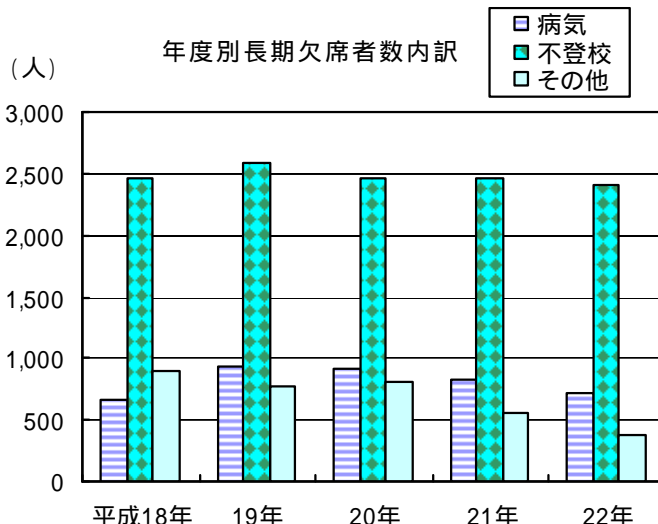
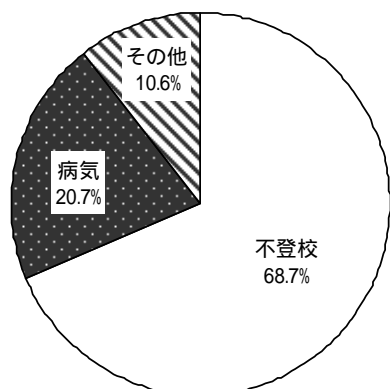
長期欠席者は3503人で生徒数の5.2%を占め、前年度と比べて347人(対前年度9.0%)の減少となった。

理由別にみると、不登校が2408人で全体の68.7%を占めており、前年度と比べて47人(対前年度1.9%)減少となった。

### 年度別長期欠席者数内訳

年度	病気	不登校	その他
平成18年	668	2,465	892
19年	935	2,579	771
20年	908	2,465	810
21年	832	2,455	563
22年	724	2,408	371

平成22年 理由別長期欠席者数内訳



## 市立中学校の年度別、区別生徒数

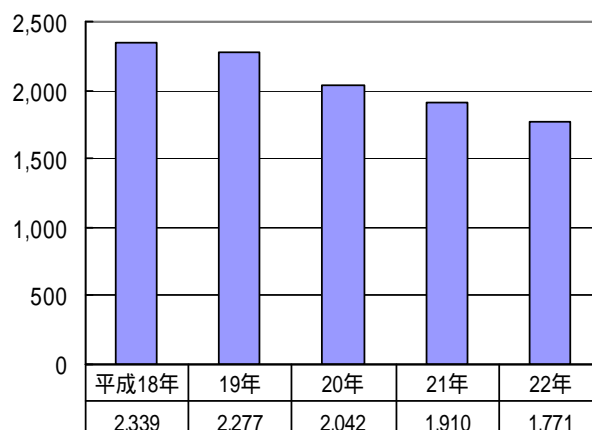
(単位：人・%)

区名	生徒数					増減率			
	平成18年	19年	20年	21年	22年	18～19年	19～20年	20～21年	21～22年
総数	54,924	55,315	55,241	55,788	55,752	0.7	0.1	1.0	0.1
北	1,557	1,526	1,493	1,495	1,479	2.0	2.2	0.1	1.1
都島	2,002	2,032	1,997	2,073	2,083	1.5	1.7	3.8	0.5
福島	1,089	1,088	1,141	1,148	1,156	0.1	4.9	0.6	0.7
此花	1,518	1,486	1,574	1,605	1,670	2.1	5.9	2.0	4.0
中央	814	782	797	790	803	3.9	1.9	0.9	1.6
西	1,152	1,126	1,111	1,163	1,261	2.3	1.3	4.7	8.4
港	1,914	1,899	1,889	1,894	1,853	0.8	0.5	0.3	2.2
大正	1,730	1,646	1,705	1,688	1,750	4.9	3.6	1.0	3.7
天王寺	1,353	1,363	1,365	1,304	1,281	0.7	0.1	4.5	1.8
浪速	575	556	554	550	548	3.3	0.4	0.7	0.4
西淀川	2,087	2,148	2,159	2,235	2,238	2.9	0.5	3.5	0.1
淀川	3,110	3,161	3,124	3,217	3,211	1.6	1.2	3.0	0.2
東淀川	3,876	3,854	3,824	3,843	3,839	0.6	0.8	0.5	0.1
東成	1,458	1,551	1,537	1,579	1,527	6.4	0.9	2.7	3.3
生野	3,016	3,009	2,959	2,972	2,895	0.2	1.7	0.4	2.6
旭	1,971	2,002	2,022	2,047	2,069	1.6	1.0	1.2	1.1
城東	3,381	3,493	3,585	3,634	3,681	3.3	2.6	1.4	1.3
鶴見	2,916	2,998	2,958	3,029	3,048	2.8	1.3	2.4	0.6
阿倍野	2,310	2,327	2,262	2,277	2,242	0.7	2.8	0.7	1.5
住之江	3,293	3,256	3,207	3,220	3,200	1.1	1.5	0.4	0.6
住吉	3,673	3,682	3,650	3,624	3,626	0.2	0.9	0.7	0.1
東住吉	2,991	3,031	3,009	3,068	3,086	1.3	0.7	2.0	0.6
平野	5,314	5,455	5,510	5,557	5,478	2.7	1.0	0.9	1.4
西成	1,824	1,844	1,809	1,776	1,728	1.1	1.9	1.8	2.7

### 外国人生徒数は減少が続いている

市内の中学校における外国人生徒数は、1771人で生徒数の2.7%を占め、前年度と比べ139人(対前年度7.3%)減少し、減少が続いている。

(人) 外国人生徒数





#### 4 高等学校

生徒数は全日制、定時制ともに増加

市内の高等学校は93校で、課程別の内訳は全日制課程のみ設置するもの82校、定時制課程のみ設置するもの7校、全日制課程と定時制課程を併設するもの4校である。以下、全日制・定時制別について概観する。

##### (1) 全日制課程

生徒数は前年度に続き増加

全日制の課程を設置する高等学校は前年度に比べて2校減少している。市立18校、国立1校、府立30校、私立37校となっている。

生徒数は7万3723人で、前年度と比べ1270人(対前年度1.8%)増加した。学年別の生徒数は、1学年及び3学年では前年度から増加したものの、2学年では594人(対前年度2.4%)減少した。

学科別では、普通科は1595人(対前年度3.1%)増となったが、工業科4人(同0.1%)減、商業科119人(同2.9%)減、「その他」の学科202人(同2.2%)減となっている。

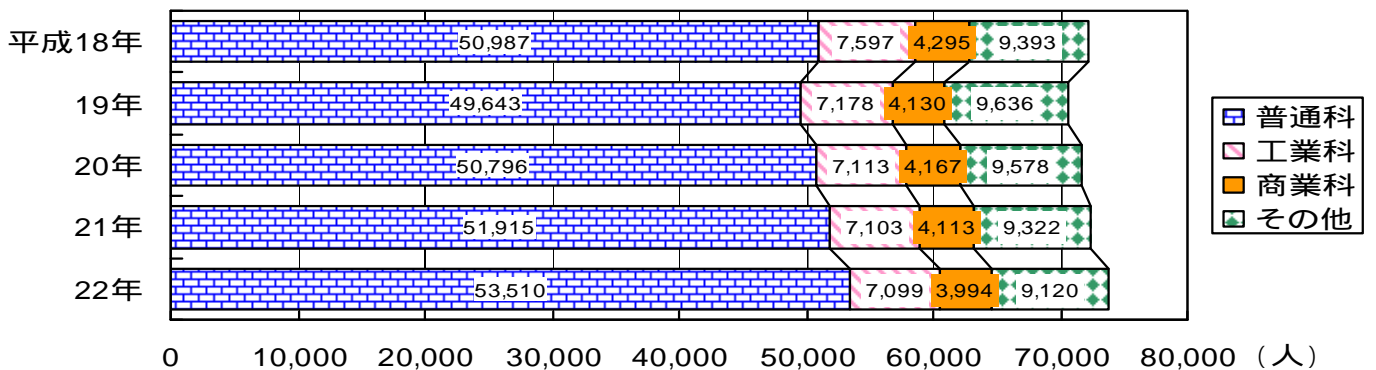
設置者別に生徒数の比率をみると、国・公立は全体の52.8%(3万8934人)であり、私立は同47.2%(3万4789人)となっている。

高等学校(全日制)の年度別、設置者別学校数・教員数・生徒数(男女別・学年別)  
(単位:校・学級・人)

年度	学校数			教員数		生徒数				
	総数	本務者	兼務者	総数	男	女	1学年	2学年	3学年	
平成18年	92	4,909	1,810	72,272	36,103	36,169	24,816	23,490	23,966	
19年	87	4,844	1,779	70,587	35,081	35,506	25,425	22,952	22,210	
20年	88	4,898	1,917	71,654	35,675	35,979	26,380	23,541	21,733	
21年	88	4,902	2,056	72,453	35,963	36,490	25,462	24,586	22,405	
22年	86	4,930	1,900	73,723	36,374	37,349	26,124	23,992	23,607	

注 国立(大阪教育大学附属高等学校)については、天王寺校舎、平野校舎及び池田校舎(在池田市)を併せて1校と扱う。

高等学校(全日制)の学科別生徒数の推移



##### (2) 定時制課程

生徒数が増加

定時制課程を設置する高等学校は前年度と同数の11校で、市立3校、府立7校、私立1校となっている。

生徒数は5035人で、前年度と比べて162人(対前年度3.3%)増と2年連続増加した。学年別では、2学年、3学年及び4学年では前年度から増

加したものの、1学年では減少した。

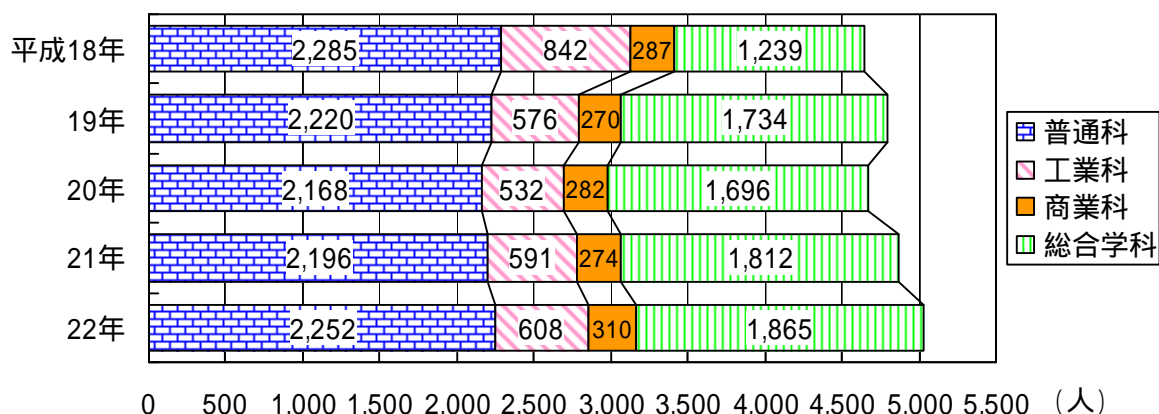
学科別の生徒数は、普通科、工業科、商業科及び総合学科のすべての学科で増加した。

高等学校（定時制）の年度別、設置者別学校数・教員数・生徒数（男女別・学年別）  
（単位：校・学級・人）

年 度	学 校 数		教 員 数		生 徒 数						
	独立校	併置校	本務者	兼務者	総数	男	女	1学年	2学年	3学年	4学年
平成18年	8 (1)	11 (1)	507	281	4,653	2,737	1,916	1,670	1,425	1,015	543
19年	12 (-)	6 (1)	539	311	4,800	2,795	2,005	1,652	1,399	1,226	523
20年	7 (-)	5 (1)	494	233	4,678	2,663	2,015	1,659	1,393	1,150	476
21年	7 (-)	4 (1)	494	219	4,873	2,821	2,052	1,826	1,405	1,158	484
22年	7 (-)	4 (1)	484	237	5,035	2,883	2,152	1,797	1,548	1,191	499

注 ( )内はうち休校。

高等学校（定時制）の学科別生徒数の推移



## 5 専修学校

学校数は2校減少

市内の専修学校は165校で前年度に比べて2校減少している。設置者別にみると、市立2校、私立163校となっている。

私立の学校数を区別にみると北区42校、天王寺区23校、淀川区19校、中央区13校と、交通のターミナルを抱えるこの4区に計97校が所在し、私立校の59.5%を占めている。

生徒数は5万3844人で前年度と比べ1032人(対前年度1.9%)の減少となっている。

課程別の生徒数は、全体の94.4%を占める専門課程が5万820人で前年度から893人(対前年度1.7%)減少し、一般課程でも減少したが、高等課程では5人(同0.2%)の増加となった。

専修学校の年度別学校数・教員数・生徒数(男女別・課程別)

(単位：校・人)

年 度	学校数	教員数	生 徒 数					
			総数	男	女	高等課程	専門課程	一般課程
平成18年	166 (7)	9,232	68,547	33,736	34,811	2,570	64,848	1,129
19年	168 (9)	9,286	63,233	30,603	32,630	2,379	59,821	1,033
20年	170 (7)	9,783	58,531	28,030	30,501	2,370	55,171	990
21年	167 (5)	9,239	54,876	26,044	28,832	2,291	51,713	872
22年	165 (5)	9,263	53,844	25,816	28,028	2,296	50,820	728

注 ( )内はうち休校

## 6 各種学校

学校数で1校減少

市内の各種学校数は33校で、前年度に比べ1校減少して、市立1校、私立32校となっている。

生徒数は6438人で、前年度に比べ128人(対前年度2.0%)増加した。男女別にみると、男子が4289人(全体の66.6%)、女子が2149人(同33.4%)となっている。

各種学校の年度別学校数・教員数・男女別生徒数

年度	学校数	教員数	生徒数		
			総数	男	女
平成18年	41(5)	664	6,912	4,353	2,559
19年	38(8)	638	6,647	4,312	2,335
20年	37(8)	643	6,413	4,194	2,219
21年	34(4)	656	6,310	4,087	2,223
22年	33(4)	601	6,438	4,289	2,149

注 ( )内はうち休校

## 7 短期大学

学校数は8校

市内に所在する短期大学は前年度と同数で、8校となっている。

学生数は4218人で、前年度に比べ72人(対前年度1.7%)減少し、減少傾向が続いている。

昼間 第1部 の学生数は、4079人で前年度に比べ84人(対前年度2.0%)減少した。

昼間 第1部 学科別の学生数を前年度と比べると、「社会科学」で42人(対前年度9.0%)減、「教育」では24人(同1.2%)減、「家政」で141人(同16.7%)減などとなっている。

なお、夜間 第2部 の学科は、平成19年度から「教育」のみとなっている。

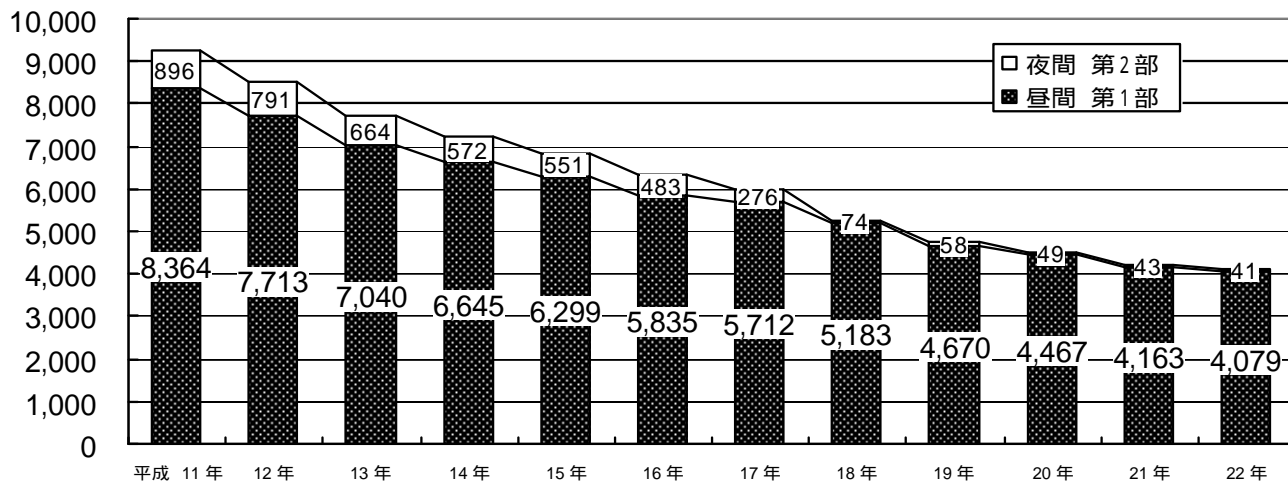
短期大学の年度別、学校数・教員数・学生数

(単位：校・人)

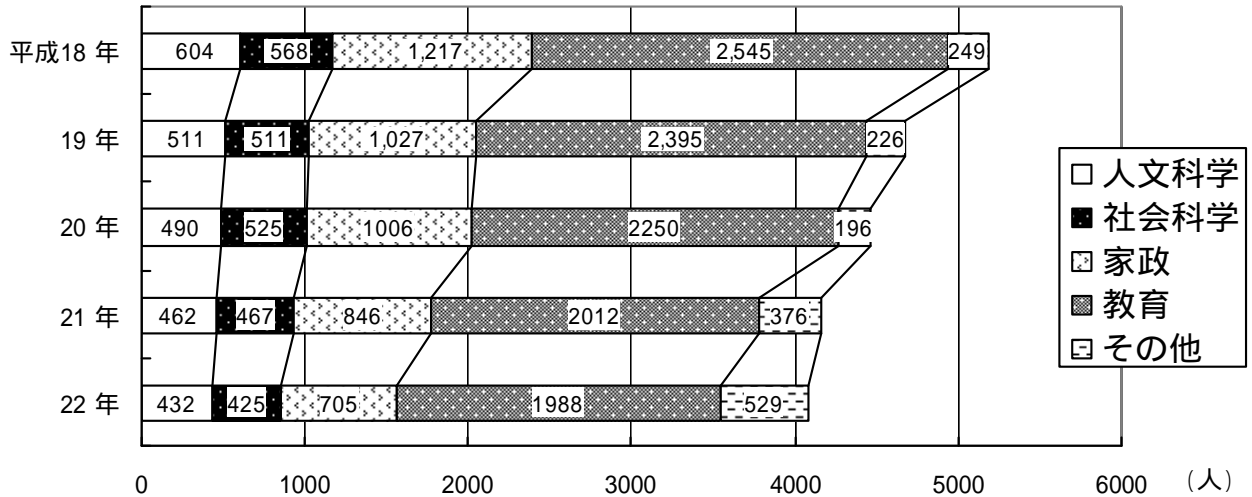
年度	学校数		教員数			総数	学生数 昼間(第1部)			学生数 夜間(第2部)			専攻科	別科その他
	総数	総数	男	女	総数		男	女	総数	男	女			
平成18年	11	1,034	505	529	5,411	5,183	172	5,011	74	9	65	78	76	
19年	9	1,007	511	496	4,888	4,670	170	4,500	58	-	58	65	95	
20年	9	881	446	435	4,634	4,467	150	4,317	49	-	49	30	88	
21年	8	916	460	456	4,290	4,163	130	4,033	43	-	43	23	61	
22年	8	917	465	452	4,218	4,079	126	3,953	41	-	41	19	79	

(人)

短期大学 昼間・夜間別学生数の推移



短期大学 昼間 第1部 学科別学生数の推移



8 大学

昼間 第1部 の学生数は増加するが、夜間 第2部 では減少

市内に所在する大学は前年度と同数で、11校となっている。

昼間 第1部 の学生数は2万2554人で、前年度に比べて216人(対前年度1.0%)増加した。

学科別の学生数を前年度と比べると、増加した学科は、「保健」で216人(対前年度17.5%)増、「社会科学」で138人(同1.5%)増、「工学」で112人(同1.9%)増などとなり、減少し

た学科は「人文科学」で124人(同6.3%)減などとなっている。

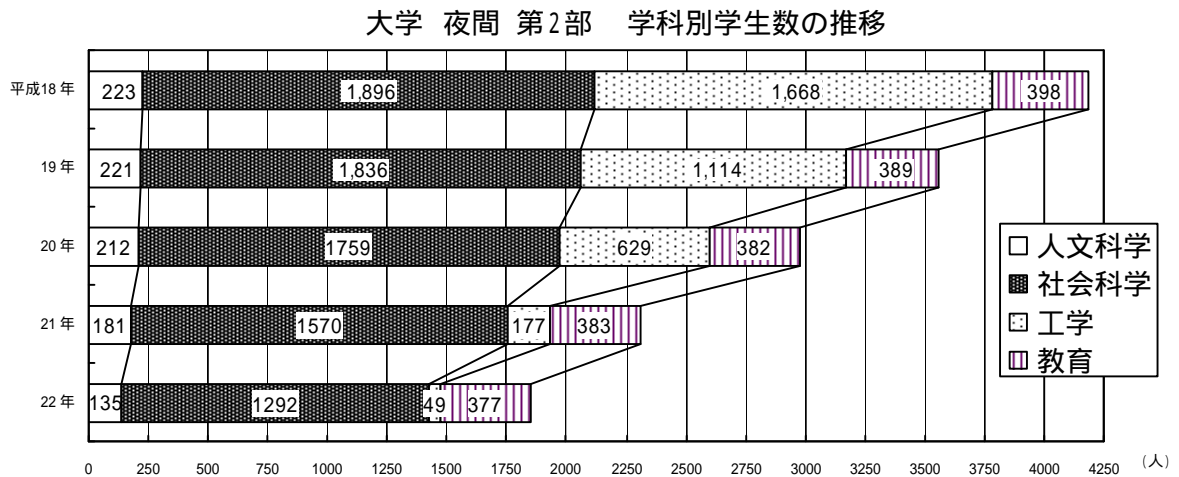
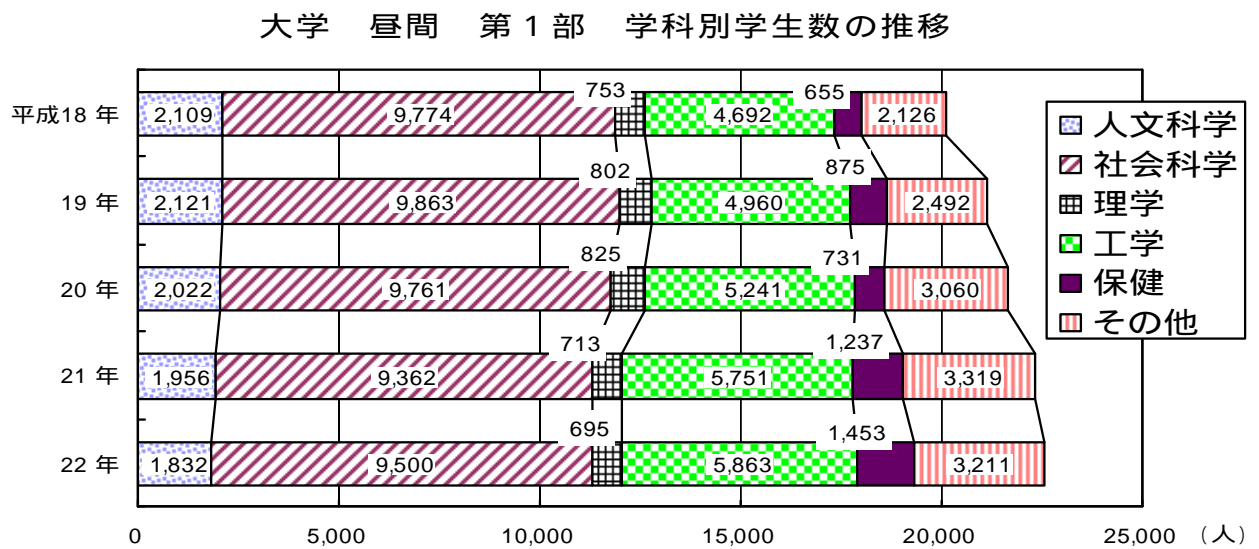
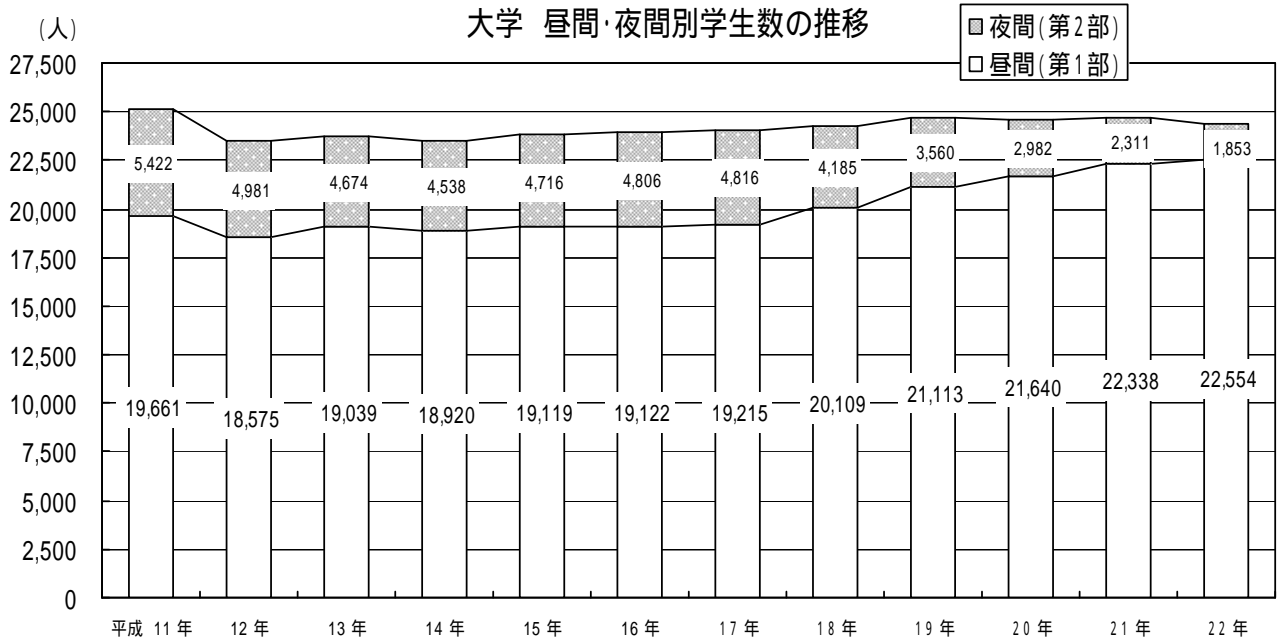
夜間 第2部 の学生数は1853人で前年度と比べて458人(対前年度19.8%)減少した。

大学の年度別、設置者別学校数・教員数・生徒数

(単位：校・学級・人)

年度	学 校 数				教 員 数				学生数 昼間(第1部)				学生数 夜間(第2部)			
	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立
平成18年	9	1	-	8	3,344	1,536	-	1,808	20,109	6,035	-	14,074	4,185	1,120	398	2,667
19年	10	1	-	9	3,529	1,514	-	2,015	21,113	6,199	-	14,914	3,560	1,059	389	2,112
20年	10	1	-	9	3,710	1,523	-	2,187	21,640	6,292	-	15,348	2,982	988	382	1,612
21年	11	1	-	10	3,755	1,532	-	2,223	22,338	6,336	-	16,002	2,311	791	383	1,137
22年	11	1	-	10	3,907	1,549	-	2,358	22,554	6,366	-	16,188	1,853	587	377	889

注 1 「学校数」については、平成19年度から大学本部の所在地による計上と変更したため、平成18年まで遡及して変更した。  
 2 「学部数」、「学生数」については、在籍する学部、研究科等の所在地による。



## 卒業後の状況調査

### 1 中学校

進学者は卒業者数の97.6%

平成22年3月における市内中学校の卒業者数は2万2489人で、前年に比べ1028人（対前年4.8%）増加した。

進路別にみると、進学者（就職して進学した者を含む）は、2万1954人で卒業者数の97.6%を占め、そのうち全日制高等学校への進学者は2万549人で、進学者の93.6%を占めている。

就職者（進学した者、専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者を除く）は97人（全体の0.4%）、専修学校等入学者（就職してこれらに入学した者を含む）は137人（同0.6%）などとなっている。

### 中学校卒業者の卒業後の状況

（単位：人・%）

区分	総数	進学者	専修学校等入学者		公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳の者
			専修学校	各種学校				
平成18年3月	21,540 (100.0)	20,936 (97.2)	55 (0.3)	21 (0.1)	19 (0.1)	189 (0.9)	313 (1.5)	7 (0.0)
19年3月	21,758 (100.0)	21,158 (97.2)	50 (0.2)	12 (0.1)	14 (0.1)	183 (0.8)	339 (1.6)	2 (0.0)
20年3月	21,721 (100.0)	21,157 (97.4)	57 (0.3)	29 (0.1)	9 (0.0)	165 (0.8)	300 (1.4)	4 (0.0)
21年3月	21,461 (100.0)	20,854 (97.2)	56 (0.3)	25 (0.1)	14 (0.1)	163 (0.8)	344 (1.6)	5 (0.0)
22年3月	22,489 (100.0)	21,954 (97.6)	108 (0.5)	29 (0.1)	13 (0.1)	97 (0.4)	286 (1.3)	2 (0.0)
男	11,228 (100.0)	10,940 (97.4)	70 (0.6)	10 (0.1)	13 (0.1)	74 (0.7)	121 (1.1)	- (0.0)
女	11,261 (100.0)	11,014 (97.8)	38 (0.3)	19 (0.2)	- (0.0)	23 (0.2)	165 (1.5)	2 (0.0)

注 1 ( )内は構成比(%)を示す。

2 「進学者」は就職して進学した者を含む。

3 「専修学校等入学者」は就職して入学した者を含む。

4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「外国の高等学校に入学した者」、「左記に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者」の合計数である。

## 2 高等学校

進学者が6.4%増加

平成 22 年 3 月における市内高等学校の卒業者数は 2 万 3 210 人で、前年に比べ 715 人（対前年 3.2%）増加した。

これを課程別にみると、全日制が 2 万 2 221 人で、卒業者数の 95.7%を占め、定時制が 989 人（全体の 4.3%）となっている。

進路別にみると、進学者は 1 万 3 178 人で、卒業

者数の 56.8%を占め、専修学校等入学者が 4 441 人（卒業者数の 19.1%）就職者（進学した者等のうち就職した者を除く）が 2 972 人（同 12.8%）などとなっている。特に進学者は前年から 6.4%（795 人）増加している一方で、就職者が 6.0%（191 人）減少している。

### 高等学校卒業者の卒業後の状況

（単位：人・%）

区 分	卒 業 者 数			進 路 別							
	総 数	全日制	定時制	進学者	専修学校等入学者		公 共 職 業 能力開発施設 等 入 学 者	就 職 者	一時的な 仕事に就 いた者	左 記 以 外 の 者	死亡・不 詳 の 者
					専修学校	各種学校					
平成18年3月	24,666 (100.0)	23,859 (96.7)	807 (3.3)	12,778 (51.8)	3,608 (14.6)	2,301 (9.3)	28 (0.1)	3,557 (14.4)	707 (2.9)	1,686 (6.8)	1 (0.0)
19年3月	24,601 (100.0)	23,648 (96.1)	953 (3.9)	13,058 (53.1)	3,175 (12.9)	2,211 (9.0)	36 (0.1)	3,666 (14.9)	764 (3.1)	1,530 (6.2)	161 (0.7)
20年3月	22,974 (100.0)	22,039 (95.9)	935 (4.1)	12,544 (54.6)	2,790 (12.1)	2,020 (8.8)	40 (0.2)	3,393 (14.8)	594 (2.6)	1,593 (6.9)	- (-)
21年3月	22,495 (100.0)	21,690 (96.4)	805 (3.6)	12,383 (55.0)	2,750 (12.2)	1,697 (7.5)	36 (0.2)	3,163 (14.1)	609 (2.7)	1,854 (8.2)	3 (0.0)
22年3月	23,210 (100.0)	22,221 (95.7)	989 (4.3)	13,178 (56.8)	2,766 (11.9)	1,675 (7.2)	40 (0.2)	2,972 (12.8)	663 (2.9)	1,914 (8.2)	2 (0.0)
男	11,596 (100.0)	11,035 (95.2)	561 (4.8)	6,328 (54.6)	1,125 (9.7)	1,033 (8.9)	31 (0.3)	1,784 (15.4)	245 (2.1)	1,048 (9.0)	2 (0.0)
女	11,614 (100.0)	11,186 (96.3)	428 (3.7)	6,850 (59.0)	1,641 (14.1)	642 (5.5)	9 (0.1)	1,188 (10.2)	418 (3.6)	866 (7.5)	- (-)

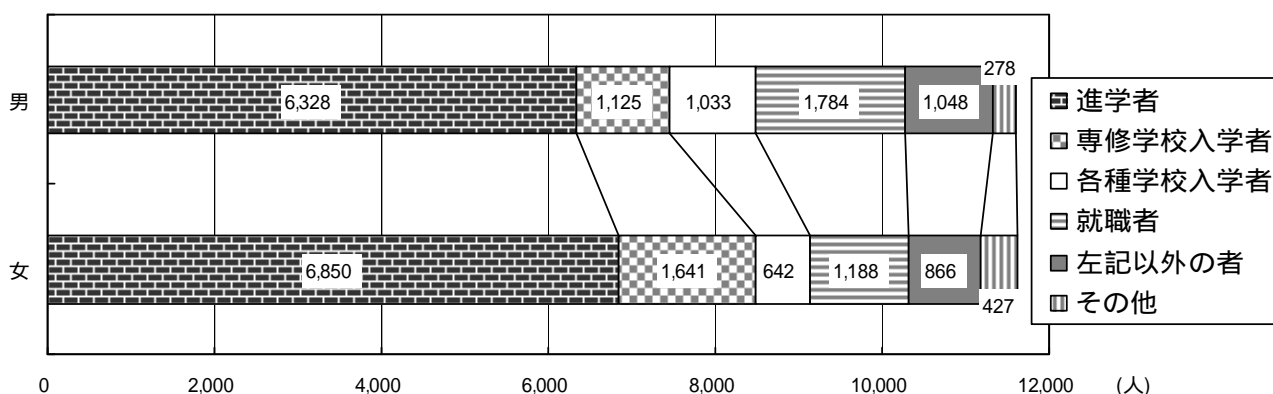
注 1 ( )内は構成比(%)を示す。

2 「進学者」は就職して進学した者を含む。

3 「専修学校等入学者」は就職して入学した者を含む。

4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「外国の大学等に入学した者」、「左記に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者」の合計数である。

### 高等学校卒業者の男女別卒業後の状況



(1) 全日制高等学校

進学者の比率が上昇

平成22年3月の卒業生数は2万2221人で、前年に比べ531人(対前年2.4%)増加した。

進路別にみると、大学等進学者(就職して進学した者を含む)は1万2986人(卒業生数の58.4%)、専修学校等入学者は4285人(同19.3%)就職者(進学した者、専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者を除く)は2696人(同12.1%)などとなっており、進学者の割合は上昇しているが、就職者の割合は低下している。

卒業生の大学(学部)・短期大学(本科)への入学志願状況を見ると、志願者数は1万5613人で卒業生数の70.3%となり、このうち大学へは男子

7812人、女子6344人、計1万4156人が志願している。実際に進学した者(就職して進学した者を含む)の内訳をみると、大学への進学は1万1489人(大学志願者の81.2%)、短期大学へは1428人(短期大学志願者の98.0%)となっている。

就職者数(進学した者、専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者を含む)2697人の職業別・産業別構成をみると、職業別では「生産工程・労務作業者」が1164人(就職者数の43.2%)と最も多く、産業別では「製造業」が923人(同34.2%)と最も多い。

全日制高等学校卒業生の卒業後の状況

(単位:人・%)

区分	総数	進学者	専修学校等入学者		公共職業能力開発施設等入学者	就職者	一時的な仕事についた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
			専修学校	各種学校					
平成18年3月	23,859 (100.0)	12,682 (53.2)	3,510 (14.7)	2,290 (9.6)	26 (0.1)	3,374 (14.1)	562 (2.4)	1,414 (5.9)	1 (0.0)
19年3月	23,648 (100.0)	12,943 (54.7)	3,071 (13.0)	2,204 (9.3)	35 (0.1)	3,494 (14.8)	566 (2.4)	1,332 (5.6)	3 (0.0)
20年3月	22,039 (100.0)	12,394 (56.2)	2,662 (12.1)	2,003 (9.1)	31 (0.1)	3,133 (14.2)	408 (1.9)	1,408 (6.4)	- (-)
21年3月	21,690 (100.0)	12,248 (56.5)	2,635 (12.1)	1,690 (7.8)	34 (0.2)	2,938 (13.5)	428 (2.0)	1,714 (7.9)	3 (0.0)
22年3月	22,221 (100.0)	12,986 (58.4)	2,615 (11.8)	1,670 (7.5)	33 (0.1)	2,696 (12.1)	477 (2.1)	3,020 (13.6)	2 (0.0)
男	11,035 (100.0)	6,228 (56.4)	1,047 (9.5)	1,031 (9.3)	24 (0.2)	1,575 (14.3)	155 (1.4)	1,796 (16.3)	2 (0.0)
女	11,186 (100.0)	6,758 (60.4)	1,568 (14.0)	639 (5.7)	9 (0.1)	1,121 (10.0)	322 (2.9)	1,224 (10.9)	- (-)

- 注 1 ( )内は構成比(%)を示す。  
 2 「進学者」は就職して進学した者を含む。  
 3 「専修学校等入学者」は就職して入学した者を含む。  
 4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「外国の大学等に入学した者」、「左記に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者」の合計数である。



入学志願者・進学者数(全日制高等学校から大学・短期大学本科へ)

(単位：人)

区 分	総 数			大 学 (学 部)			短 期 大 学 (本 科)			
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	
平成18年3月	入学志願者	15,811	8,300	7,511	13,824	8,042	5,782	1,987	258	1,729
	進学者	12,664	6,183	6,481	10,734	5,944	4,790	1,930	239	1,691
19年	入学志願者	16,128	8,440	7,688	14,303	8,225	6,078	1,987	215	1,610
	進学者	12,933	6,278	6,655	11,159	6,076	5,083	1,774	202	1,572
20年	入学志願者	15,302	7,830	7,472	13,665	7,660	6,005	1,637	170	1,467
	進学者	12,375	5,852	6,523	10,755	5,690	5,065	1,620	162	1,458
21年	入学志願者	14,991	7,570	7,421	13,443	7,424	6,019	1,548	146	1,402
	進学者	12,225	5,750	6,475	10,709	5,614	5,095	1,516	136	1,380
22年	入学志願者	15,613	7,960	7,653	14,156	7,812	6,344	1,457	148	1,309
	進学者	12,986	6,228	6,758	11,489	6,056	5,433	1,428	144	1,284

全日制高等学校卒業者の産業別就職者数

(単位：人・%)

産業別	平成 22 年					
	総 数	男		女		
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	
総 数	2,697	100.0	1,576	100.0	1,121	100.0
農 林 漁 業	4	0.1	4	0.3	-	-
鉱業，採石業，砂利採取業	0.0	-	-	-	-	-
建 設 業	243	9.0	227	14.4	16	1.4
製 造 業	923	34.2	645	40.9	278	24.8
電気・ガス・熱供給・水道業	23	0.9	22	1.4	1	0.1
情 報 通 信 業	31	1.1	12	0.8	19	1.7
運 輸 業 ， 郵 便 業	196	7.3	144	9.1	52	4.6
卸 売 業 ， 小 売 業	473	17.5	146	9.3	327	29.2
金 融 業 ， 保 険 業	12	0.4	1	0.1	11	1.0
不 動 産 業 ， 物 品 賃 貸 業	28	1.0	16	1.0	12	1.1
学術研究，専門・技術サービス業	34	1.3	26	1.6	8	0.7
宿泊業，飲食サービス業	155	5.7	63	4.0	92	8.2
生活関連サービス業，娯楽業	97	3.6	29	1.8	68	6.1
教 育 ・ 学 習 支 援 業	18	0.7	6	0.4	12	1.1
医 療 ・ 福 祉	186	6.9	30	1.9	156	13.9
複 合 サ ー ビ ス 業	6	0.2	3	0.2	3	0.3
サ ー ビ ス 業	162	6.0	133	8.4	29	2.6
公 務	66	2.4	54	3.4	12	1.1
上 記 以 外	40	1.5	15	1.0	25	2.2

注 進学した者、専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者を含む。

### 全日制高等学校卒業者の職業別就職者数

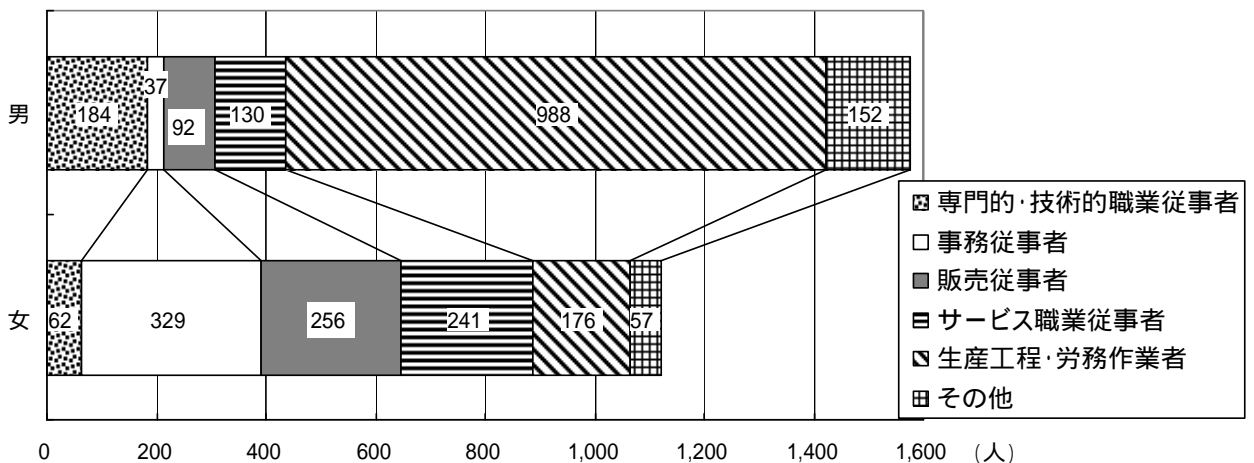
(単位：人・%)

職業別	平成18年	19年	20年	21年	22年		
					総数	男	女
総数	3,376 (100.0)	3,497 (100.0)	3,138 (100.0)	2,940 (100.0)	2,697 (100.0)	1,576 (100.0)	1,121 (100.0)
専門的・技術的職業従事者	133 (3.9)	249 (7.1)	234 (7.5)	289 (9.8)	246 (9.1)	184 (11.7)	62 (5.5)
事務従事者	637 (18.9)	656 (18.8)	613 (19.5)	500 (17.0)	359 (13.3)	30 (1.9)	329 (29.3)
販売従事者	485 (14.4)	519 (14.8)	407 (13.0)	367 (12.5)	348 (12.9)	92 (5.8)	256 (22.8)
サービス職業従事者	351 (10.4)	396 (11.3)	356 (11.3)	319 (10.9)	371 (13.8)	130 (8.2)	241 (21.5)
保安職業従事者	59 (1.7)	50 (1.4)	28 (0.9)	59 (2.0)	34 (1.3)	28 (1.8)	6 (0.5)
農林漁業作業	1 (0.0)	- (-)	- (-)	1 (-)	5 (0.2)	5 (0.3)	- (-)
運輸・通信従事者	95 (2.8)	94 (2.7)	115 (3.7)	98 (3.3)	78 (2.9)	63 (4.0)	15 (1.3)
生産工程・労務作業	1,534 (45.4)	1,450 (41.5)	1,308 (41.7)	1,236 (42.0)	1,164 (43.2)	988 (62.7)	176 (15.7)
上記以外	81 (2.4)	83 (2.4)	77 (2.5)	71 (2.4)	92 (3.4)	56 (3.6)	36 (3.2)

注1 ( )内は構成比(%)を示す。

注2 進学した者、専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者を含む。

### 全日制高等学校卒業者の職業別就職者数内訳



(2) 定時制高等学校

進学者数が42.2%増加

平成22年3月の卒業生数は989人で、前年に比べ184人(対前年22.9%)増加した。

進路別にみると、就職者(進学した者、専修学校入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者などを除く)は276人(卒業生数の27.9%)、進学者(就職して進学した者を含む)は192人(同19.4%)、専修学校等入学者は156人(同15.8%)などとなっている。

就職者数(進学した者、専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者を含む)276人の職業別・産業別構成をみると、職業別では「生産工程・労務作業者」が151人(全体の54.7%)と最も多く、産業別では「製造業」が110人(同39.9%)と最も多くなっている。

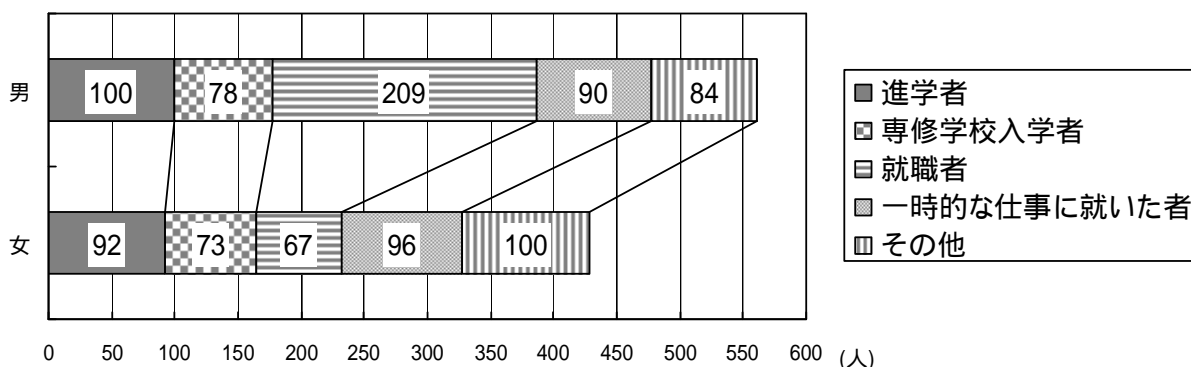
定時制高等学校卒業生の卒業後の状況

(単位:人・%)

区分	総数	進学者	専修学校等入学者		公共職業能力開発施設等入学者	就職者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
			専修学校	各種学校					
平成18年3月	807 (100.0)	96 (11.9)	98 (12.1)	11 (1.4)	2 (0.2)	183 (22.7)	145 (18.0)	272 (33.7)	- (-)
19年3月	953 (100.0)	115 (12.1)	104 (10.9)	7 (0.7)	1 (0.1)	172 (18.0)	198 (20.8)	198 (20.8)	158 (16.6)
20年3月	935 (100.0)	150 (16.0)	128 (13.7)	17 (1.8)	9 (1.0)	260 (27.8)	186 (19.9)	185 (19.8)	- (-)
21年3月	805 (100.0)	135 (16.8)	115 (14.3)	7 (0.9)	2 (0.2)	225 (28.0)	181 (22.5)	140 (17.4)	- (-)
22年3月	989 (100.0)	192 (19.4)	151 (15.3)	5 (0.5)	7 (0.7)	276 (27.9)	186 (18.8)	172 (17.4)	- (-)
男	561 (100.0)	100 (17.8)	78 (13.9)	2 (0.4)	7 (1.2)	209 (37.3)	90 (16.0)	75 (13.4)	- (-)
女	428 (100.0)	92 (21.5)	73 (17.1)	3 (0.7)	- (-)	67 (15.7)	96 (22.4)	97 (22.7)	- (-)

- 注 1 ( )内は構成比(%)を示す。  
 2 「進学者」は就職して進学した者を含む。  
 3 「専修学校等入学者」は就職して入学した者を含む。  
 4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「外国の大学等に入学した者」、「左記に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者」の合計数である。

定時制高等学校卒業生の卒業後の状況内訳



定時制高等学校卒業者の産業別就職者数

(単位：人・%)

産業別	平成 22 年					
	総 数	構成比(%)	男		女	
			構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	
総 数	276	100.0	209	100.0	67	100.0
農 林 漁 業	-	-	-	-	-	-
鉱業，採石業，砂利採取業	-	-	-	-	-	-
建設業	42	15.2	40	19.1	2	3.0
製造業	110	39.9	93	44.5	17	25.4
電気・ガス・熱供給・水道業	6	2.2	6	2.9	-	-
情報通信業	1	0.4	1	0.5	-	-
運輸業，郵便業	10	3.6	9	4.3	1	1.5
卸売業，小売業	26	9.4	12	5.7	14	20.9
金融業，保険業	-	-	-	-	-	-
不動産業，物品賃貸業	3	1.1	3	1.4	-	-
学術研究，専門・技術サービス業	4	1.4	3	1.4	1	1.5
宿泊業，飲食サービス業	28	10.1	18	8.6	10	14.9
生活関連サービス業，娯楽業	10	3.6	5	2.4	5	7.5
教育・学習支援業	1	0.4	1	0.5	-	-
医療・福祉	18	6.5	4	1.9	14	20.9
複合サービス業	2	0.7	-	-	2	3.0
サービス業	13	4.7	12	5.7	1	1.5
公務	2	0.7	2	1.0	-	-
上記以外	-	-	-	-	-	-

注 進学した者、専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者を含む。

定時制高等学校卒業者の職業別就職者数

(単位：人・%)

職業別	平成18年	19年	20年	21年	22 年		
					総 数	男	女
総 数	184 (100.0)	176 (100.0)	261 (100.0)	226 (100.0)	276 (100.0)	209 (100.0)	67 (100.0)
専門的・技術的職業従事者	5 (2.7)	11 (6.3)	22 (8.4)	18 (8.0)	7 (2.5)	5 (2.4)	2 (3.0)
事務従事者	9 (4.9)	7 (4.0)	13 (5.0)	7 (3.1)	11 (4.0)	3 (1.4)	8 (11.9)
販売従事者	22 (12.0)	33 (18.8)	34 (13.0)	30 (13.3)	34 (12.3)	19 (9.1)	15 (22.4)
サービス職業従事者	44 (23.9)	25 (14.2)	40 (15.3)	33 (14.6)	53 (19.2)	27 (12.9)	26 (38.8)
保安職業従事者	6 (3.3)	4 (2.3)	6 (2.3)	2 (0.9)	4 (1.4)	4 (1.9)	- (-)
農林漁業作業	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.4)	- (-)	- (-)	- (-)
運輸・通信従事者	7 (3.8)	- (-)	11 (4.2)	14 (6.2)	10 (3.6)	10 (4.8)	- (-)
生産工程・労務作業	87 (47.3)	91 (51.7)	128 (49.0)	108 (47.8)	151 (54.7)	135 (64.6)	16 (23.9)
上記以外	4 (2.2)	5 (2.8)	7 (2.7)	13 (5.8)	6 (2.2)	6 (2.9)	- (-)

注1 ( )内は構成比(%)を示す。

注2 進学した者、専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者を含む。

### 3 短期大学

就職者数が21.0%減少

平成22年3月における短期大学の卒業生数は1938人で前年に比べ229人(対前年10.6%)減少した。

進路別にみると、「就職者(進学した者のうち就職した者を除く)」は卒業生数の70.2%(1361人)を占めているが、前年と比べ9.3ポイント低下した。一方進学者は1.2ポイント上昇した。

就職者(進学した者のうち就職した者を含む)の職業別の割合は、「専門的・技術的職業従事者」が就職者数の69.1%(940人)と最も多く占めている。

就職者(進学した者のうち就職した者を含む)の産業別の割合は、「医療・福祉」が就職者数の36.1%(492人)を占め、「教育学習支援業」が同31.6%(430人)などとなっている。

短期大学 卒業後の状況

(単位:人・%)

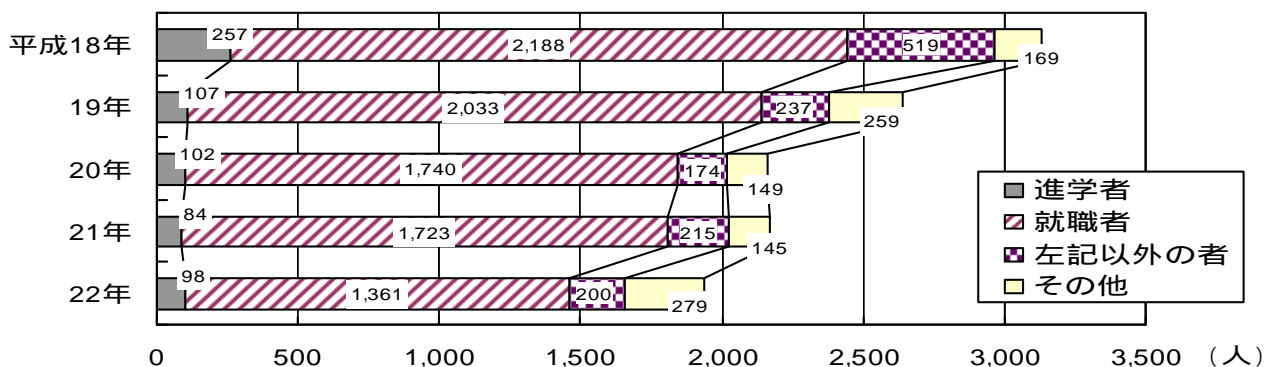
区分	総数	進路別					
		進学者	就職者	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳者
平成18年3月	3,133 (100.0)	257 (8.2)	2,188 (69.8)	54 (1.7)	108 (3.4)	519 (16.6)	7 (0.2)
19年3月	2,636 (100.0)	107 (4.1)	2,033 (77.1)	60 (2.3)	140 (5.3)	237 (9.0)	59 (2.2)
20年3月	2,165 (100.0)	102 (4.7)	1,740 (80.4)	36 (1.7)	61 (2.8)	174 (8.0)	52 (2.4)
21年3月	2,167 (100.0)	84 (3.9)	1,723 (79.5)	27 (1.2)	53 (2.4)	215 (9.9)	65 (3.0)
22年3月	1,938 (100.0)	98 (5.1)	1,361 (70.2)	28 (1.4)	83 (4.3)	200 (10.3)	168 (8.7)
男	52 (100.0)	4 (7.7)	21 (40.4)	2 (3.8)	- 0.0	3 (5.8)	22 (42.3)
女	1886 (100.0)	94 (5.0)	1,340 (71.0)	26 (1.4)	83 (4.4)	197 (10.4)	146 (7.7)

注 1 ( )内は構成比(%)を示す。

2 「進学者」は就職して進学した者を含む。

3 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「左記の進学でも就職でもないことが明らかな者」の合計数である。

短期大学 年次別卒業後の状況推移



### 短期大学 卒業者の職業別就職者数

(単位:人・%)

職業別	平成18年	19年	20年	21年	22年		
					総数	男	女
総数	2,189 (100.0)	2,033 (100.0)	1,740 (100.0)	1,723 (100.0)	1,361 (100.0)	21 (100.0)	1,340 (100.0)
専門的・技術的職業従事者	1,359 (62.1)	1,235 (60.7)	1,082 (62.2)	1,070 (62.1)	940 (69.1)	19 (90.5)	921 (68.7)
管理的職業従事者	2 (0.1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
事務従事者	492 (22.5)	468 (23.0)	371 (21.3)	344 (20.0)	199 (14.6)	1 (4.8)	198 (14.8)
販売従事者	228 (10.4)	217 (10.7)	200 (11.5)	176 (10.2)	123 (9.0)	- (-)	123 (9.2)
サービス職業従事者	83 (3.8)	80 (3.9)	82 (4.7)	123 (7.1)	92 (6.8)	1 (4.8)	91 (6.8)
保安職業従事者	1 (0.0)	4 (0.2)	2 (0.1)	2 (0.1)	- (-)	- (-)	- (-)
農林漁業作業者	1 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
運輸・通信従事者	3 (0.1)	21 (1.0)	2 (0.1)	6 (0.3)	4 (0.3)	- (-)	4 (0.3)
技能工、採掘・製造・建設作業者及び労務作業者	10 (0.5)	2 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.1)	1 (0.1)	- (-)	1 (0.1)
上記以外の者	10 (0.5)	6 (0.3)	- (-)	- (-)	2 (0.1)	- (-)	2 (0.1)

注1 ( )内は構成比(%)を示す。

注2 進学した者のうち就職した者を含む。

### 短期大学 卒業者の産業別就職者数

(単位:人・%)

産業別	平成22年					
	総数		男		女	
	総数	構成比(%)	総数	構成比(%)	総数	構成比(%)
総数	1,361	100.0	21	100.0	1,340	100.0
農林漁業	-	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-
建設業	7	0.5	-	-	7	0.5
製造業	36	2.6	2	9.5	34	2.5
電気・ガス・熱供給・水道業	3	0.2	-	-	3	0.2
情報通信業	7	0.5	-	-	7	0.5
運輸業、郵便業	12	0.9	-	-	12	0.9
卸売業・小売業	182	13.4	-	-	182	13.6
金融業・保険業	65	4.8	-	-	65	4.9
不動産業、物品賃貸業	5	0.4	-	-	5	0.4
学術研究、専門・技術サービス業	6	0.4	-	-	6	0.4
宿泊業、飲食サービス業	62	4.6	1	4.8	61	4.6
生活関連サービス業、娯楽業	36	2.6	-	-	36	2.7
教育学習支援業	430	31.6	10	47.6	420	31.3
医療・福祉	492	36.1	8	38.1	484	36.1
複合サービス事業	2	0.1	-	-	2	0.1
サービス業務	9	0.7	-	-	9	0.7
上記以外	2	0.1	-	-	2	0.1
上記以外	5	0.4	-	-	5	0.4

注 進学した者のうち就職した者を含む。

## 4 大学

### (1) 昼間 第1部

就職者の割合が6.3ポイント低下

平成22年3月における大学の昼間 第1部 卒業生数は5103人で前年に比べ832人(対前年19.5%)増加した。

進路別にみると、卒業生数の60.2%を占める「就職者(進学した者のうち就職した者を除く)」が3071人で、前年に比べ269人(対前年9.6%)増加したが、卒業生数に占める割合は6.3ポイント低下した。一方で「進学者(進学した者のうち就職した者を含む)」は706人で前年に比べ157人(対前年28.6%)の増加となっている。

就職者(進学した者のうち就職した者を含む)の職業別の割合は、「事務従事者」が就職者数の42.6%(1308人)を占めており、次いで「専門的・技術的職業従事者」が就職者数の37.5%(1152人)、「販売従事者」が就職者数の10.5%(321人)となっている。

就職者(進学した者のうち就職した者を含む)の産業別の割合は、「卸売業・小売業」が就職者数の19.1%(587人)を占めており、次いで「製造業」が就職者数の17.5%(538人)などとなっている。

### 大学 昼間 第1部 卒業後の状況

(単位:人・%)

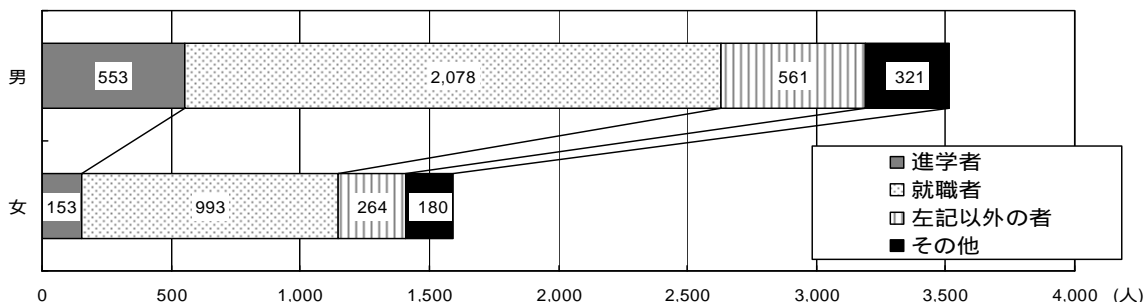
区分	総数	進学者	就職者	臨床研修医	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
平成18年3月	4,462 (100.0)	560 (12.6)	2,838 (63.6)	68 (1.5)	111 (2.5)	98 (2.2)	657 (14.7)	130 (2.9)
19年3月	5,414 (100.0)	684 (12.6)	3,744 (69.2)	79 (1.5)	62 (1.1)	85 (1.6)	624 (11.5)	136 (2.5)
20年3月	4,271 (100.0)	503 (11.8)	2,993 (70.1)	75 (1.8)	39 (0.9)	97 (2.3)	369 (8.6)	195 (4.6)
21年3月	4,214 (100.0)	549 (13.0)	2,802 (66.5)	76 (1.8)	54 (1.3)	73 (1.7)	529 (12.6)	131 (3.1)
22年3月	5,103 (100.0)	706 (13.8)	3,071 (60.2)	76 (1.5)	99 (1.9)	135 (2.6)	825 (16.1)	191 (3.7)
男	3,513 (100.0)	553 (15.7)	2,078 (59.2)	49 (1.4)	83 (2.4)	71 (2.0)	561 (16.0)	118 (3.3)
女	1,590 (100.0)	153 (9.6)	993 (62.5)	27 (1.7)	16 (1.0)	64 (4.0)	264 (16.6)	73 (4.6)

注 1 ( )内は構成比(%)を示す。

2 「進学者」は就職して進学した者を含む。

3 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「左記の進学でも就職でもないことが明らかな者」の合計数である。

### 大学 昼間 第1部 卒業生の卒業後の状況内訳



### 大学 昼間 第1部 卒業者の職業別就職者数

(単位:人・%)

職業別	平成18年	19年	20年	21年	22年		
					総数	男	女
総数	2,838 (100.0)	3,744 (100.0)	2,993 (100.0)	2,802 (100.0)	3,071 (100.0)	2,078 (100.0)	993 (100.0)
専門的・技術的職業従事者	1,048 (36.9)	1,594 (42.6)	867 (29.0)	818 (29.2)	1,152 (37.5)	782 (37.6)	370 (37.3)
管理的職業従事者	3 (0.1)	5 (0.1)	- (-)	3 (0.1)	5 (0.2)	3 (0.1)	2 (0.2)
事務従事者	1,365 (48.1)	1,424 (38.0)	843 (28.2)	753 (26.9)	1,308 (42.6)	855 (41.1)	453 (45.6)
販売従事者	248 (8.7)	537 (14.3)	1,058 (35.3)	997 (35.6)	321 (10.5)	218 (10.5)	103 (10.4)
サービス職業従事者	62 (2.2)	68 (1.8)	92 (3.1)	112 (4.0)	119 (3.9)	76 (3.7)	43 (4.3)
保安職業従事者	37 (1.3)	54 (1.4)	40 (1.3)	44 (1.6)	53 (1.7)	53 (2.6)	- (-)
農林漁業作業者	1 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
運輸・通信従事者	16 (0.6)	18 (0.5)	19 (0.6)	23 (0.8)	35 (1.1)	32 (1.5)	3 (0.3)
技能工、採掘・製造・建設作業者及び労務作業者	9 (0.3)	2 (0.1)	6 (0.2)	5 (0.2)	8 (0.3)	5 (0.2)	3 (0.3)
上記以外の者	49 (1.7)	42 (1.1)	68 (2.3)	47 (1.7)	70 (2.3)	54 (2.6)	16 (1.6)

注1 ( )内は構成比(%)を示す。

注2 進学した者のうち就職した者を含む。

### 大学 昼間 第1部 卒業者の産業別就職者数

(単位:人・%)

産業別	平成22年					
	総数	男		女		
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	
総数	3,071	100.0	2,078	100.0	993	100.0
農林漁業	6	0.2	6	0.3	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.0	1	0.0	-	-
建設業	257	8.4	226	10.9	31	3.1
製造業	538	17.5	416	20.0	122	12.3
電気・ガス・熱供給・水道業	10	0.3	8	0.4	2	0.2
情報通信業	259	8.4	212	10.2	47	4.7
運輸業、郵便業	104	3.4	76	3.7	28	2.8
卸売業・小売業	587	19.1	436	21.0	151	15.2
金融業・保険業	293	9.5	163	7.8	130	13.1
不動産業、物品賃貸業	42	1.4	32	1.5	10	1.0
学術研究、専門・技術サービス業	100	3.3	72	3.5	28	2.8
宿泊業、飲食サービス業	80	2.6	50	2.4	30	3.0
生活関連サービス業、娯楽業	58	1.9	42	2.0	16	1.6
教育学習支援業	168	5.5	60	2.9	108	10.9
医療・福祉	206	6.7	41	2.0	165	16.6
複合サービス事業	33	1.1	26	1.3	7	0.7
サービス業	92	3.0	63	3.0	29	2.9
公務	201	6.5	126	6.1	75	7.6
上記以外	36	1.2	22	1.1	14	1.4

注 進学した者のうち就職した者を含む。



(2) 夜間 第2部

卒業生数が大きく減少

平成22年3月における大学の夜間 第2部 卒業生数は470人で前年に比べ521人(対前年52.6%)減少した。

進路別にみると、「就職者(進学した者のうち就職した者を除く)」が278人で、前年に比べ372人(対前年57.2%)減少、卒業生数に占める割合も59.1%と前年より6.5ポイント低下している。

就職者(進学した者のうち就職した者を含む)の職業別の割合をみると、「専門的・技術的職業従事者」が就職者数の50.4%(140人)を占めており、次いで「事務従事者」27.3%(76人)などとなっている。

就職者(進学した者のうち就職した者を含む)の産業別の割合をみると、「教育学習支援業」が就職者数の26.6%(74人)を占めており、次いで「建設業」14.7%(41人)、「製造業」14.7%(41人)などとなっている。

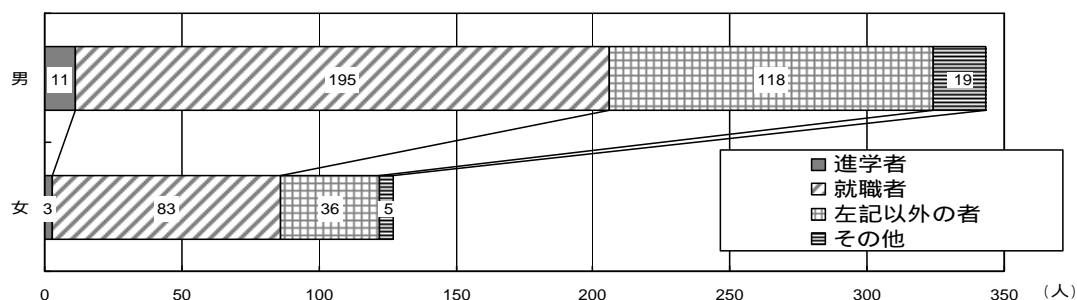
大学 夜間 第2部 卒業後の状況

(単位:人・%)

区分	総数	進学者	就職者	臨床研修医	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
平成18年3月	862 (100.0)	44 (5.1)	580 (67.3)	- (-)	10 (1.2)	27 (3.1)	196 (22.7)	5 (0.6)
19年3月	924 (100.0)	47 (5.1)	637 (68.9)	- (-)	10 (1.1)	25 (2.7)	200 (21.6)	5 (0.5)
20年3月	911 (100.0)	54 (5.9)	644 (70.7)	- (-)	3 (0.3)	23 (2.5)	178 (19.5)	9 (1.0)
21年3月	991 (100.0)	57 (5.8)	650 (65.6)	- (-)	8 (0.8)	9 (0.9)	252 (25.4)	15 (1.5)
22年3月	470 (100.0)	14 (3.0)	278 (59.1)	- (-)	9 (1.9)	15 (3.2)	154 (32.8)	- 0.0
男	343 (100.0)	11 (3.2)	195 (56.9)	- (-)	6 (1.7)	13 (3.8)	118 (34.4)	- (-)
女	127 (100.0)	3 (2.4)	83 (65.4)	- (-)	3 (2.4)	2 (1.6)	36 (28.3)	- (-)

- 注 1 ( )内は構成比(%)を示す。  
 2 「進学者」は就職して進学した者を含む。  
 3 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「左記の進学でも就職でもないことが明らかな者」の合計数である。

大学 夜間 第2部 卒業生の卒業後の状況内訳



大学 夜間 第2部 卒業者の職業別就職者数

(単位:人・%)

職業別	18年	19年	20年	21年	22年		
					総数	男	女
総数	580 (100.0)	637 (100.0)	644 (100.0)	650 (100.0)	278 (100.0)	195 (100.0)	83 (100.0)
専門的・技術的職業従事者	346 (59.7)	374 (58.7)	398 (61.8)	383 (58.9)	140 (50.4)	102 (52.3)	38 (45.8)
管理的職業従事者	2 (0.3)	2 (0.3)	3 (0.5)	2 (0.3)	- (-)	- (-)	- (-)
事務従事者	142 (24.5)	129 (20.3)	72 (11.2)	80 (12.3)	76 (27.3)	45 (23.1)	31 (37.3)
販売従事者	43 (7.4)	75 (11.8)	137 (21.3)	128 (19.7)	33 (11.9)	25 (12.8)	8 (9.6)
サ－ビス職業従事者	23 (4.0)	21 (3.3)	9 (1.4)	13 (2.0)	15 (5.4)	12 (6.2)	3 (3.6)
保安職業従事者	4 (0.7)	8 (1.3)	6 (0.9)	9 (1.4)	2 (0.7)	2 (1.0)	- (-)
農林漁業作業	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.2)	- (-)	- (-)	- (-)
運輸・通信従事者	7 (1.2)	4 (0.6)	7 (1.1)	7 (1.1)	2 (0.7)	2 (1.0)	- (-)
技能工、採掘・製造・建設作業及び労務作業	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.2)	- (-)	- (-)	- (-)
上記以外の者	13 (2.2)	24 (3.8)	12 (1.9)	26 (4.0)	10 (3.6)	7 (3.6)	3 (3.6)

注1 ( )内は構成比(%)を示す。

注2 進学した者のうち就職した者を含む。

大学 夜間 第2部 卒業者の産業別就職者数

(単位:人・%)

産業別	平成22年					
	総数		男		女	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
総数	278	100.0	195	100.0	83	100.0
農林漁業	-	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-
建設業	41	14.7	41	21.0	-	-
製造業	41	14.7	32	16.4	9	10.8
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-
情報通信業	10	3.6	7	3.6	3	3.6
運輸業、郵便業	6	2.2	5	2.6	1	1.2
卸売業・小売業	30	10.8	22	11.3	8	9.6
金融業・保険業	9	3.2	5	2.6	4	4.8
不動産業、物品賃貸業	5	1.8	4	2.1	1	1.2
学術研究、専門・技術サービス業	8	2.9	4	2.1	4	4.8
宿泊業、飲食サービス業	7	2.5	6	3.1	1	1.2
生活関連サービス業、娯楽業	3	1.1	3	1.5	-	-
教育学習支援業	74	26.6	39	20.0	35	42.2
医療・福祉	4	1.4	2	1.0	2	2.4
複合サービス事業	3	1.1	1	0.5	2	2.4
サ－ビス業	5	1.8	4	2.1	1	1.2
公務	18	6.5	11	5.6	7	8.4
上記以外	14	5.0	9	4.6	5	6.0

注 進学した者のうち就職した者を含む。